

STRDESIGN V13.1Kの修正内容について

1. 注意事項

概要書オプションをご利用の場合で、概要書 Word 文書の雛形となる Word テンプレート文書(構造計算概要書テンプレート文書.doc)を独自に編集された場合、STRDESIGN V13.1K をインストール/アップデートすると新しい Word テンプレート文書で上書きされ、お客様が変更した内容が削除されてしまいます。独自に変更した内容を保管される場合は、「構造計算概要書テンプレート文書.doc」をコピーして別の場所に貼り付けるなどしてバックアップをとっておいてください。(「構造計算概要書テンプレート文書.doc」を変更されていない場合、本操作は必要ございません。)

※「構造計算概要書テンプレート文書.doc」は通常、以下の場所にあります。

C:\Program Files\STRBASE V13\Modeler\Bin

2. STRDESIGN V13.1J V13.1K の修正内容

※V13.1J より以前の修正履歴についてはホームページのレベルアップレポートを参照ください。

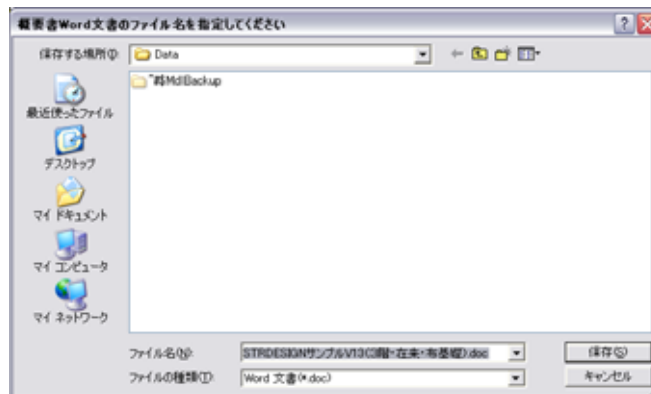
STRWEB トップページ→「ダウンロード」→「レベルアップレポート」(ページ下部にリンクがあります)

http://www.fcena.jp/st_rweb/support/strdesign_report.html

- (1) 「2・3階床伏図タイプ指定」および「小屋伏図タイプ指定」で、構造計算書およびA3図面の伏図の梁断面寸法表示方法を変更できるようにしました。(梁断面寸法・・・描画タイプ1 = 梁幅×梁せい、描画タイプ2 = 梁せいのみ)
また、伏図における梁幅×梁せいの場合の「×」を小さな「x」に変更しました。
- (2) 構造計算書の表紙に、計算担当者とその建築士登録番号の表記を追加しました。
- (3) 柱の入力においては、樹種と断面寸法を両方指定した場合のみ、指定された断面寸法が採用されていましたが、樹種が「使用木材で指定」のままでも指定された断面寸法が採用されるように変更しました。
- (4) 構造計算書のアンカーボルトのせん断の検討において「本数は、該当の通りだけでなく、40cm(構造計算パラメータ)の範囲内にあるアンカーボルトもカウントされています。」という記載を追加しました。
- (5) テンプレートの木材樹種別強度にカナダツガを2種類追加しました。
- (6) 縦長の物件において、46条壁量計算書において重心の算定表が改ページされない場合がある不具合を修正しました。
- (7) 混構造物件において小さな吹抜け領域を入力すると、構造計算書の荷重分布図に不要な点線が表示される場合がある不具合を修正しました。
- (8) 入力画面の「構造計算書出力指定」において、プロパティの項目と、画面が一部異なっていた不具合を修正しました。
- (9) 布基礎の地耐力の検討表において地耐力記号が e となっていたが、e に変更しました。
- (10) 「構造計算結果判定基準値」の「水平力に対する耐力壁の耐力」の値は使用していませんでしたが、「鉛直構面の判定」において検定に指定値を採用するように変更しました。

3. 概要書オプションの修正内容

- (1) 概要書 Word 文書の作成時に、ファイル名を指定できるように変更しました。必要に応じてファイル名を変更し、概要書 Word 文書を作成してください。(既存の概要書 Word 文書と同じファイル名の場合には確認メッセージが表示されます。)



- (2) § 7に偏心率の値の出力を追加しました。(出力される値は、水平力に対する耐力壁の算定(5)偏心率の算定の「偏心率の算定(地震力)」のものです。
構造計算において「各階の偏心率 0.15」の判定は行っていないため、「各階の偏心率 0.15」はチェックされません。告示のフォーマット通りに出力していますので、必要に応じて0.3などに変更してください。
- (3) 木材樹種別強度の樹種名に半角のカンマ「,」が含まれている場合、使用木材の表が正しく表示されない不具合を修正しました。
- (4) 概要書(通常)文書の§ 5 基礎ぐい等の検定において「接地圧の検定、底盤、基礎梁のM・Qに対する断面件検定を構造計算書に記載」と記載されていましたが「件」が誤字のため、削除しました。(Word 文書に誤字はありません。)

4. お問い合わせ先

〒105-8668 東京都港区芝浦 1-2-1(シーバンスN館)
富士通エフ・アイ・ピー株式会社 FCENA(エフセナ)サポートセンター
TEL 0120-84-1118(フリーダイヤル) FAX 03-5730-0718
< ホームページ > <http://www.fcena.jp/strweb/>